

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	北海道財務局長
【提出日】	平成27年5月8日
【四半期会計期間】	第10期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	株式会社ロジネットジャパン
【英訳名】	LOGINET JAPAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 木村 輝美
【本店の所在の場所】	札幌市中央区大通西8丁目2番地6
【電話番号】	札幌011(251)7755(代表)
【事務連絡者氏名】	企画担当部長 斎藤 恭祐
【最寄りの連絡場所】	札幌市中央区大通西8丁目2番地6
【電話番号】	札幌011(251)4112
【事務連絡者氏名】	企画担当部長 斎藤 恭祐
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南1条西5丁目14番地の1)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年3月16日に提出した第10期第3四半期（自平成26年10月1日 至平成26年12月31日）の四半期報告書の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状況、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等

発行済株式

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間において、発生した事業上及び財務上の課題は、次のとおりであります。

グループ間取引に関する過去の会計処理について訂正を要する懸念が生じたことから、当社と利害関係を有しない外部の専門家から構成される第三者委員会を設置し調査を実施いたしました。

その結果、当社は、第三者委員会よりグループ間取引に関する会計処理の一部に不適切なものがあつたとの指摘を受け、過年度報告書等の財務諸表およびセグメント情報等を訂正いたしました。今回不適切な会計処理の指摘を受けたという事実を厳粛に受け止め、第三者委員会の調査結果および再発防止のための提言に沿って、再発防止策に取り組んでおります。

また、(株)ロジネットジャパン西日本につきましては、再生プランに基づき、倉庫管理の効率化や新規顧客の開拓などの経営再建策を継続して実行するとともに、当社グループ全体として、関西・中部地区における社内管理体制、輸送体制、営業体制の再編を、更に強力に推し進めてまいります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【発行済株式】

(訂正前)

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年3月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,021,363	14,021,363	札幌証券取引所	単元株式数 1,000株
計	14,021,363	14,021,363	-	-

(訂正後)

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年3月16日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,021,363	14,021,363	札幌証券取引所	単元株式数 1,000株
計	14,021,363	14,021,363	-	-